

# 究極のエンジニアリング・スプレッドシート DAD SP

→ DSP Development Corp.

United States of America

THE ULTIMATE ENGINEERING SPREADSHEET



ユーザー 医科大学、産婦人科学部

ユーザー概要 生殖生物学と薬学部は、人間の不妊症の診断と治療を専門としています。

所 在 地 デービス、カナダ

課題

コンピューターによる精子の分析(CASA)は男性の不妊症に関する研究に対して重要なツールとなりましたが、研究者によっては手動で行う測定技術の方が CASAより優れているとは思っています。人間の精子はまっすぐ泳ぐだけではないので運動を解析することは非常に困難です。泳ぐ方向を変える際には頭だけでなく、尻尾も動かします。精子細胞の動きのパターンと活発さが精子の健康の指標であるので、この動きを性格に解析しモデル化することが重要です。

## 隠れたパターンのための新たな解析

精子の運動をモデル化するためには、動き自体を多少単純化しなければなりません。しかし、何を単純化すればいいのかを見つけることは非常に難しいことです。現在利用可能なCASAツールは平均的な精子の軌道を固定長移動平均を用いて精子の曲線軌道を滑らかにすることによって計算します。また、精子の頭の部分のみ考えて測定します。カルフォルニア大学デービス校の産婦人科学部のRussel Davis, Paul Niswander, David Katzの3人の研究者によって、この測定方法では多くの情報を失う危険があると判明しました。それは精子サンプルの動きに関する不確実な結果を招くことに繋がります。このタイプの測定は、不規則に泳ぐ精子の軌道によって画像が歪んでしまうので、不正確な計

#### <問題の解決>

Davis氏と同僚は精子の運動解析に対する別のアプローチとしてDADiSPを用いました。彼らは新しい方法は、以前の方法に比べて精子の運動をより性格に特徴付けることが出来ると考えています。

算が、平均軌道の速度(VAP)・外側頭の変位 (ALH)・平均経路との交叉回数(BCF)・曲線軌道の曲がり具合(WOB)・曲線軌道の直線成分(STR)のような精子の健康状態を評価する重要な測定を不正確にします。Dr.Davisと同僚は、誰も見つけたことがない精子の軌道パターンを見つけるためには新しい解析手法が必要だと感じています。また、そのためには新しいCASAツールが必要になると考えられています



#### 適用業務不妊性の解析 牛物学アプリケーション

# [ ソリューション -01- ]

#### 平均値の調整

固定長移動平均(FLRA)解析手法を精子に適用することで精子の軌道を滑らかにしすぎたり、しなすぎたりするといったこと が起こります。科学者が全ての細胞の平均値を出そうとした場合、これらのミスはどんどん積み重なっていきます。 Dr.Davisと同僚によって提案された新しい手法は、各曲線軌道の主な空間的振動の波長を変えるような精子細胞の軌道の移 動平均の幅を状況に合わせて適応させます。精子の軌道の正確なモデリングこの新しい測定手法を用いることで実現できま す。つまり、精子の健康状態をより正確に判断することが可能となります。

## 「 ソリューション -**02**- ]

#### 物理的なデータの整理

毎秒200フレーム撮影するハイスピードビデオカメラとレコーダーを用いて、37℃の精漿を泳ぐ精子の最初の観測が行われ ました。軌道を記録・デジタル化し、1秒(データ点数200点)あたりの物理パラメータを解析しました。研究室で書かれたプ ログラムであるPathToolに軌道データをインポートします。PathToolとは精子の平均長とDADiSPへ入れられた2つのべ クトルを基に調和解析をするものです。高速フーリエ変換(FFT)を基にしたこの新しい測定法は、かなり不規則な動きから生 じた周波数と振幅を明らかにすることができます。それらには基本的調和運動(HAR)・HARの大きさ (MAG)・HARのバン ド幅のパワー(PWB)を含みます。これらはDADiSPのワークシート内では簡単に計算することが出来ます。

# 「 ソリューション -**03**- ]

#### 予備データ解析

Dr.Russel DavisはDADiSPの使いやすさのことを「DADiSPの重要な特 徴の一つである」と述べています。彼は、DADiSPが、信号処理において、 異なる信号を用いて行うようなものであってもその多くを扱うことができ るという点を気に入っており次のように述べています。「予備データ解析 には非常に便利である。 | DADiSPは今まで不明確だった精子の動きのパター ンと周期性を発見したいというDr.Davisと同僚の願望に答えました。

# DADISPは研究を 成功に導くものである

彼らの発見から、Davis氏と同僚は、彼ら の方法の検証を活発的に勧め、新しい CASAツール用に提案しました。最後に、 俺らの研究の努力は、不妊調査に適用す るに値する手法を確立したといえます、 また、DADiSPもその成功に大いに貢献 したといえます。

お問い合わせ

